

NEWS

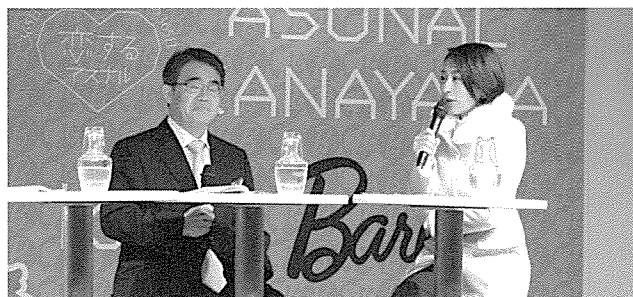
「Let's エコアクション in AICHI」 参加報告

地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」(ごみの分別、公共交通機関の利用、自然を守る行動、地産地消の消費行動等)の輪を広げていくため、環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」が11月18日(土)、19日(日)にアスナル金山で開催されました。また、本イベントにあわせて、「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」も開催されました。

愛産協の展示ブースは金山総合駅連絡通路橋に設置され、これまでの事業活動の写真パネルの掲示、自然素材を活用したワークショップの開催、協会名の入ったティッシュや絆創膏を配布し、協会活動を一般の方へ広く知っていただくための啓発活動を行いました。

アスナル金山の会場ステージでは、OS☆U/服部半蔵忍者隊のパフォーマンスステージ&エコアクションクイズが賑やかに催されました。

開会の挨拶は愛知県知事 大村秀章氏が述べ、その後、大村秀章氏×浅田 舞氏(フィギュアスケーター、スポーツキャスター)のトークショーが、「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」主催のもと開催されました。トークショーの中で浅田氏は、テーマである食品ロスについて、ご自身の日常における食生活について語られました。また買い物にはエコバッグを持参され、ごみを出さないように取り組んでいるとのことでした。開催日当日は雨模様でしたが、浅田氏のファンが多く会場に集まりトークショーは大盛況でした。午後からは小塚崇彦氏(フィギュアスケーター)のトークショーが開催され、多くの方が来場されました。



大村知事と浅田さんのトークショー

両日共に愛産協のブースでは、ワークショップが行われ、当協会員(株)コスモス・エコ研究所 浦田恵美子社長が中心となり、鬼頭洋子さん、名古屋市昆虫同好会の小林俊光さんのご指導により、工作の楽しさを伝えました。材料は身近かにあるきれいな絵の描いてある広告チラシの切り抜き、庭に咲いている季節の花の押し花、赤い実をつけた千両の枝、山へ散策に行った際に拾ってきた松ぼっくり、どんぐり、小枝、落ち葉など多くのものが用意されていました。クリスマスシーズンとあって、松ぼっくりでミニツリーを作成する方が多く、制作に没頭され長居をされる訪問者の方もみえました。色紙の工作では、色紙を切り抜き立体的に虫を作成し、今にも動き出しそうな迫力満点の作品を手に、お子さんが大はしゃぎをする姿が多数見受けられました。長年継続しているワークショップは、多くのファンがついており、毎年開催を楽しみにしていただいております。顔なじみの方はお子様連れで、「こんにちはー!」と元気な挨拶と共に来訪されて工作を楽しまれます。

イベントの初日は雨模様、二日目は真冬並みの冷たい風が連絡通路橋を吹き抜ける中、運営スタッフの職員は総出で催事を盛り上げ、エコに対する意識啓発の推進活動を実践しました。



◆エコアクションへの意識調査◆

愛産協ブースへの来訪者のご意見

・クラフトワークは気持ちが和みます。孫が七五三なのでこの作品をプレゼントしたい。どこにでもある素材でものを作る、創意工夫が良いことだと思います。ひいては生活の知恵が身に着くと思います。

・産業廃棄物処理業は無くてはならないと思う。資源ごみは近くのスーパーにあるリサイクルできるところまで持って行きます。このように自分が意識することでリサイクルに協力している気持ちになります。

・自宅ではごみの分別をしっかり行いリサイクルに協力をして、買い物はマイバッグを持参しています。

・自宅の管轄区役所で地産地消のフェスタをしているのでよく行きます。同区で栽培された野菜を使った野菜まんじゅうや商業高校で作られた野菜が売られています。また催事を利用すると飴と手袋がもらえるので利用しています。それがきっかけでリサイクルに目覚めました。

・ごみの分別はしっかりやっています。洗剤は詰め替え用を使用。食事は残さず完食するので残飯は出ません。油で汚れた皿は紙で拭いてから洗います。汚れた水は流さないようにしています。食器洗いにお湯は使わないようにして極力水で洗います。お洗濯の洗剤は液体を使用しています。

・生ごみは畑に入れて肥料として使います。着なくなった服は小さく切って、油を使ったお皿を拭くときや炊事用として使います。食後の皿は油がついたまま洗いません。焼き肉のプレートも使用後はその布で拭いてきれいにします。使用済みストッキングは、丸めて階段のほこり取りに使います。

・自分の家はごみあまり出ません。1回に出すごみは10リットルの袋一つで済みます。野菜は捨てることなく料理し、量は余分に作りません。牛乳のパックはスーパーへ持っていきます。エコバッグは2袋バッグに常備し、デパートでも紙袋は断りマイバッグに入れてもらいます。エコとってあちらこちらでエコバッグを配布しているが、大量に配布す

るとエコバッグ自体がごみになると思います。またエコバッグが汚れたからと言って洗うことはないと思います。洗うことにより水を使い、洗剤を使って水を汚すので、エコバッグを汚さないように使っています。他には納豆のパックは洗ってまで資源ごみには出しません。ねばねばを洗い流そうとして洗剤や水を使うことはエコやりサイクルとは思えないので、私は可燃ごみとして捨てます。リサイクルに関しては自分なりの考えがあり、1回で出す可燃ごみは10リットルの袋に入るようなエコ意識で、環境への配慮を考えています。

・クラフトワークの昆虫折り紙が好きです。くわがたが好きなので我が子も虫好きになり、協会主催のクラフトワークには毎回参加しています。虫が好きなので自然環境にも知らず知らずのうちに関心がわき、虫が住みやすい社会になるような地球環境づくりを心掛けています。

・ペットボトルは資源回収に持っていきます。食器で油のついたものは紙で拭き取ってから、最小の水量で洗い極力水を使わないようにしています。

・新聞紙は資源に回して、買い物はエコバッグを使用しています。

貴重なご意見を賜りありがとうございます。当ブースを訪問された主に女性の方のご意見です。インタビューに答えてくださった全員の方が、地球環境に対して非常に意識が高く、日常生活においてできるだけ水を使用しない炊事、洗濯を心がけ、全員がエコバッグを持って買い物をしているとのことでした。ご意見を伺った方々は、こんな小さなことしかできませんが、自分がエコに協力できることを精一杯実践していますと皆様口を揃えて話されました。

※ご意見内容は、エコに対してそれぞれの考えや取り組みとしてご理解ください。



愛産協ブースに「服部半蔵忍者隊」が来訪